



## 箱根駅伝

今年は、久しぶりに学生時代の友人から連絡が入り「田中、今年は日大が箱根駅伝で優勝するかもしれないから来ないか」と誘われ、正月の予定もなかったから学生時代に2度程行った箱根駅伝を見に出かけてみた。以前は、すべてゴール大手町だった。昭和33年、小生も中学生時代に岐阜市中学駅伝にて明郷中学の選手として出場し区間新記録を獲った事もあるから駅伝は好きだった。当時は、長良川の千鳥橋からグランドホテルまでを小生は走った。まだ、道路も舗装されてなく砂利道を走った。伴走車も、白バイもパトカーもなく先生が自転車でその役をしていたものだ。道は、砂利道だから先生の伴走は小生よりも遅く、必死で先生が後から自転車で走って来たのを思い出す。現在は、もう岐阜市では中学駅伝などなくなっているが、とても良い思い出になっている。

元旦、家族と近くの神社に初詣を済ませ急いで一路箱根に向かった。高速も元旦はあまり混んではなかったが、とりあえず静岡の友人と落ち合うために静岡市内のホテルで一泊し、明朝早くにホテルを出発し箱根に向かった。芦ノ湖の湖尻から舟で箱根関所に行きゴール近くの日大応援団に合流した。

小生の学生時代の応援団と現在の応援団とは全く違ったものだった。当時は、もう40年程前だったから応援団は200人ぐらいで学校にいてもとても恐い存在だった。皆と違って少し長い学生服に油まみれの角帽、仲間と会うと大きな声で「押忍」。いつも学生運動家達（当時は、国家に対していつも反対行動をしていた）とトラブルを起こしていたものだった。街頭で成田問題、日米同盟反対のピラなど配っている活動家達を蹴散らしていた。今、目の前にいる応援団は全て女性、それも短いスカートを履いて両手になんかピカピカした飾り玉を持って踊っているチアガール達だった。20～30人がいて、交代で10人程がもう1時間ほどブラズバンドの音楽に合わせ校歌、



応援歌を大きなかけ声と共に歌って踊っている。

昔の応援団達は、何処へ行ってしまったのか？でも、30人程の初老達がたまに昔の応援団の手振りでチアガール達と応援していた。初老の人々は、昔の応援団OB連中で今は少しも恐くなかった。

40年振りに日大校歌を初老のOB達と歌ったが忘れてなかったのは少し驚いた。昔は、友人達とよく野球・ラグビーの試合に行ったものだから忘れてなかった。

